

活動実施報告書(令和5年度)

名称: 鹿児島市立 本名保育所

所在地: 鹿児島市 本名町 3026 番地
 丁目 番 5号

電話番号: 294-2351 E-mail: honmyohoiku@city.kagoshima.lg.jp

代表者: 神矢 智恵子 担当: 小濱・桐原・樋渡

4月～5月: エコ活動ってなあに? ～節水・節電・物を大切にしよう～

取組内容

絵本「ちきゅうのためにやってみよう」を見る。
節水・節電について絵本を通して知る。

活動の様子(写真等)



絵本の内容に興味を持ちながら、じっくりと見る。「おみず、もったいないよね」など、子どもたちからの声も聞かれた。

取組結果・感想等

絵本を通して、節水・節電等のエコについて知り、子どもたちなりに理解しようとしているが、普段の生活の中で、子どもたち自身からエコ活動に気を付けることは難しいが、保育士からの言葉かけによって「そうだった」「水止めなきゃ」など気づくことができている。保育士が主体となって子どもたちに伝えていくことが大切だと感じた。

6月～8月: グリーンカーテンを作ろう! 水を大切にしよう! (プール水を再利用)

取組内容

- ・きゅうり・ヘチマを植えて、グリーンカーテンを作る
- ・プール遊びで後、使用した水を花や野菜などにかける。

活動の様子(写真等)

・つるが高く伸びたことを興味をもって見ていた。
・プール遊びの片付け時には、ペットボトルやジョウロにプールの水を汲み、花や野菜にかけに行く姿が見られた。繰り返し続けていくうちに、プールの後は水かけをするということが定着し、楽しみながらすることが出来ていた。植物の生長に気づくこともできていた。

取組結果・感想等

取り組みを続けることで、子どもたちが自らプール片付けの時に水かけをしたり、子どもたちなりに水を大切にしている姿が見られてよかった。



9月～10月：食べ物大切さを知ろう！～「残さず食べる」をやってみよう～

取組内容

- ・6月に田植えをさせてもらった田んぼで稲刈り体験をする。その後、穫れたお米を園庭で炊いて食べる。
- ・畑のさつまいもの収穫をする。焼き芋にして食べたり、給食と一緒に提供してもらったりして食べる。
- ・心地の良い季節になり、体をたくさん動かして遊ぶ。

取組結果・感想等

- ・田植えから稲刈りと経験したことで、お米について興味をもつ姿が見られた。子どもたちと一緒に収穫したお米を釜で炊くことで、喜んで食べる姿が見られ、食育にもつながったと感じる。
- ・体を動かして遊んだり活動したりする機会が増えたことで、活動が終わるころには「お腹がすいた」「早く給食食べたい」と空腹を感じ、モリモリ食べる姿が見られた。

活動の様子(写真等)

田植え



稲刈り



収穫したお米を釜で炊いて食べる



11月～12月：自然の物を使って遊ぼう！（製作活動・お絵かき・スタンプ）

取組内容

- ・落ち葉を使ってスタンプ遊びをする。
- ・落ち葉や枝を遊びに取り入れる

取組結果・感想等

- ・イチョウや紅葉の落ち葉をたくさん集め、葉に絵の具をつけて画用紙にスタンプをして遊ぶ。
- ・落ち葉を集めて花束のようにして遊んだり、ままごと遊びに取り入れたりした。

活動の様子(写真等)



いちょうの葉を使ったスタンプ遊び



1月～3月:色々な素材を使って遊ぼう!～様々な素材を組み合わせて製作したり遊んだりしよう!～

取組内容

・身の回りの素材(牛乳パックや段ボールなど)を遊びに取り入れたり、素材を組み合わせて製作をしたりする。

活動の様子(写真等)

トイレットペーパーの芯や新聞紙を使って鬼のお面づくり



取組結果・感想等

普段は捨ててしまう身近なものが、鬼のお面やひな人形などに変身することや遊びに取り入れられることを知り、工夫しながら作ったり遊んだりすることができてよかった。

トイレットペーパーの芯やティッシュの箱を使って、ひな人形づくり



1年間取り組んだ感想・ご意見

今回の取り組みを通して、エコ活動について子どもたちなりに分かり、プールの水を再利用したり、自然のものを遊びに取り入れたり子どもたちから進んで取り組めることも多くあった。昨年からの引き継ぎ畑で野菜を育て収穫したり、初めての試みである田植え・稲刈り体験等食育を通し、作ることの大変さ、食べ物大切さなど、伝えることができたのでよかった。

エコ活動に関して難しく感じることも多いが、保育士が先頭に立ち、その都度伝えていくことで子どもたちにもより関心をもってもらえるよう、今後も身近な簡単なことから取り組んでいきたいと思う。